

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会  
平成27年度第4回理事会議事録

開催日時： 平成27年8月1日（土）13時00分～16時30分

開催場所： 日本臨床検査自動化学会事務所（文京区本郷）

出席者： 康 東天理事長

メ谷直人理事、細萱茂実理事、松尾収二理事、山舘周恒理事、  
栢森裕三監事、村上正巳監事

欠席者： 横田浩充理事

冒頭、康 東天理事長より、新執行部がメール等で当面の課題について連絡を取り合っている中で、正式な理事会を開催して確認すべきと思われる事項も出てきていることから、当初予定していた9月の理事会を待たずに急遽第4回理事会として開催することとなった旨の説明がなされた。

続いて、議事録署名人としてメ谷直人理事と細萱茂実理事が指名され、審議に入った。

#### 議題1. 各委員会委員長および指名理事について

##### (1) 各委員会委員長について

康 東天理事長より、各委員会の委員長は全て留任とする旨の確認がなされた。定款・細則検討委員会の委員長については、先の定時社員総会で出席者より意見が出された経緯もあるが、この秋の定款改定に向けて作業が大詰めを迎えていることから、村上正巳委員長のもとで作業を継続することで合意された。

##### (2) 指名理事について

康 東天理事長より、金沢大学の和田隆志先生と千葉大学病院の澤部祐司技師長のお二方が指名理事候補として報告された。なお、本件は理事としての要承認事項であることから、今回は書面にて社員の賛否を問うことで全理事の承認が得られた。

##### (3) 執行部の役割分担について

康 東天理事長より、新執行部の役割分担について以下のような発表がなされた。

- ・康 東天理事長：渉外担当
- ・山館周恒理事：副理事長、総務担当
- ・横田浩充理事：総務担当
- ・細萱茂実理事：会計担当、編集委員長
- ・松尾収二理事：学術担当
- ・メ谷直人理事：法規担当

なお、上記（2）の指名理事候補については、社員の承認を得たうえで次の役割を担って頂く。

- ・和田隆志理事：大会、春季セミナー
- ・澤部祐司理事：会計担当

栢森裕三監事と村上正巳監事は監査業務を担当。

#### (4) 今後の指名理事の承認手順について

今回の役員選挙からは、指名理事が早々に理事としての活動が行えるよう細則で規定したいとの意向が康 東天理事長より示された。

### 議題 2. 社員総会議案準備について

昨年度より、事業計画と予算案は事業年度が始まる前の秋の大会時の社員総会に議案提出している経緯が山館周恒理事より説明され、本年度も同様に10月の社員総会に諮ることが確認された。

#### (1) 平成 28 年度事業計画について

総務担当の山館周恒理事より、次回理事会に例年に従った事業計画を提示する旨、発言があった。

#### (2) 平成 28 年度予算案

会計担当の細萱茂実理事より、本年度予算とほぼ同様な規模の予算案を次回の理事会に提示する予定であるが、特に計画している事項があれば申し出て頂きたいとの発言があった。

#### (3) 平成 29 年度春季セミナー例会長および大会長について

平成 29 年度の大会長は細萱茂実理事にお願いすることで理事全員の承認が得られた。春季セミナーの開催地は、大会開催地との絡みから首都圏と神戸を除く地域での開催を基本とすることが確認された。これに配慮して平成 29 年度の春季セミナーの例会長は四国中国地方から選出する方向で理事長に打診等を含めて一任することとなった。

#### (4) 定款・細則改定について

秋の大会にて定款を改定し、それに基づいて細則に指名理事に関する承認までの流れと名誉会員・功労会員の推薦規定を盛り込むべく準備を進めることが確認された。

(5) 名誉会員・功労会員の推薦

明確な規定を細則に盛り込むこととして、理事会案も含めて定款・細則検討委員会（以下、委員会）で審議をお願い、次回理事会に委員会案を提示して頂く。ホームページに掲載されている名簿からの削除は、名誉会員においては亡くなられた場合、功労会員については退会した場合とすることが了承された。

(6) 評議員の選出について

細部は改訂予定の細則に盛り込むこととして、満 65 歳を迎えた年度末をもって評議員を解くことを定款に盛り込むか検討したい旨、村上委員長から発言があった。会員歴を盛り込むかについても委員会で検討願うことになった。細則にて評議員の人数を規定し、特定の地域や施設に偏らない選出方法、さらに、評議員の更新条件についても委員会にて検討して頂くこととなった。

現評議員の地域分布についての調査と選出の地域割案を山舘理事が作成することとなった。

なお、理事は任期終了まで評議員（社員）である必要がある点が確認された。学術委員会の委員長の任期についても細則に盛り込む方向で検討して頂く。

(7) その他

理事の半数ずつが交代となるシステムについて、以前から理事会の懸案になっていたが、その実現性についてはどのようなのかとの質問が細萱茂実理事から出された。

本件については、次回の役員改選時に実現すべく検討していく旨、確認された。

議題 3. 学術委員会より

(1) 技術セミナーにおける「共催」の扱いについて

担当の松尾収二理事より、POC 技術委員会のチラシのみが「共催」を表示する図案となっている点について、学会として 4 技術委員会共通の方針を学会として決める必要があるため、POC 技術委員会に、本年度

は再考を要請している旨の説明がなされた。本件については、康 東天理事長、松尾収二理事、山舘周恒理事の 3 名で企業側の意見を聞いて判断することとなった。

- (2) POC 技術委員会へ日本臨床衛生検査技師会（以下、日臨技）からの委員を加える件について

POC 技術委員会の 〆谷直人委員長から提出のあった要請書について協議がなされ、日臨技側と連絡をとって話し合いを行うこととなった。

#### 議題 4. 第 47 回大会について

大会長の山舘周恒理事より以下の二点について報告がなされた。

- (1) 横浜市外郭団体からの支援金について

支援規定が変更されたことから当大会は支援対象外となった。

- (2) 来年度以降の UMIN 演題登録システムについて

演題登録システムについては来年度以降も運営が継続されるとのことである。

#### 議題 5. その他

- (1) 当学会 Web サイトの管理委託について

今年度は管理委託を継続し、将来的には m3. com 学会研究会（サーバー経費無料）の説明会を計画して検討していく。

- (2) 学会事務員の労災保険、労働保険加入について

現在、社会保険労務士事務所に相談して見積りを依頼している。

- (3) 次回理事会について

9 月 11 日（金）夕方以降の開催で各役員の都合を確認する。

以上

平成 27 年 月 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理 事 長

出席監事

出席監事